

ダムワーキンググループに係わる経過

1. 第34回運営会議(H16.6.10開催)での了解事項(結果報告からの抜粋)

ダムについて検討するWG(メンバー20名程度)をつくる。メンバーは、参加希望者を募り、その中から運営会議の責任で選定する。WGは7月早々に発足させる。

WGによる検討を先行させる。WG全体で、5つのダムにつき、河川管理者から十分な情報提供(説明)を受ける。その後、ダムごとにサブWGを作って検討する(大戸川、天ヶ瀬、丹生の3ダムは一体で検討することも考えられる。また、各ダム相互間の情報交換も必要)。

WGによる議論を踏まえ、地域別部会の部会内検討会で検討する。

部会内検討会での検討結果を月1回程度の頻度で開催する地域別部会に上げて検討する。

以上の検討を前提に、委員会におけるダムの検討は2ヶ月に1回程度の頻度とする。

なお、WGによる議論や地域別部会の部会内検討会での議論は、必ずしも公開で行う必要はない。ただし、議論(検討過程)は非公開でも、検討結果については公開が必要との確認がなされた。

2. 第30回委員会(H16.6.22開催)での承認事項

標記委員会において、以下の点が承認された

- ・5ダム(川上ダム、丹生ダム、大戸川ダム、天ヶ瀬ダム再開発、余野川ダム)に係わる検討を行うために、ワーキンググループを設置する。
- ・ワーキンググループは委員から公募し、人選については、運営会議に委ねる。

3. 第35回運営会議(H16.7.2開催)での了解事項

標記運営会議において、ダムWGに関して、以下の点が了解された。

名称

「ダムワーキンググループ」 略称「ダムWG」

メンバー

28名(別紙参照)

WGリーダー

今本博健委員(治水部会長)

その他

- ・WGのメンバー以外の委員についても積極的に参加してもらい議論に加わっていただく。
- ・詳細な運営方法等についてはWGでの検討により決定する。

(別紙)

ダムワーキンググループ委員名簿

(50音順)

委員名	備考
池淵 周一(利水部会長)	
今本 博健(治水部会長)	WGリーダー
江頭 進治	
大手 桂二	
荻野 芳彦	
嘉田 由紀子	
川上 聡	
川那部 浩哉(琵琶湖部会長)	
倉田 亨	
宗宮 功(環境・利用部会長)	
田中 真澄	
田中 哲夫	
谷田 一三	
塚本 明正	
寺川 庄蔵	
寺田 武彦(淀川部会長)	
中村 正久	
西野 麻知子	
原田 泰志	
細川 ゆう子	
本多 孝	
柘屋 正	
水山 高久	
三田村 緒佐武(住民参加部会長)	
村上 悟	
森下 郁子	
山本 範子	
米山 俊直(猪名川部会長)	
合計 28名	